

# フィールド風

(現場)からの

宮田守男

政府は12月8日の閣議で、天皇陛下が退位される日を2019年4月30日とする政令を決定した。翌5月1日から新天皇が即位され、新年号になる。天皇の

退位は江戸時代の1817年の光格天皇以来約200年ぶりで、現行憲法下では初めてだ。多くの場面で「平成最後」とのアナウンス。「昭和生まれも、ひと昔前」のイメージが増していくのだろうと一抹の寂しさを感じてしまふ。

視聴は出場歌手ばかりでなく、フイチナチケットを勝ち取った会場を埋め尽くす観客の幸せ感も楽しめるだろう。平成最後としての次の挑戦内容が楽しみになってしまふ。

関係者に聞くと、補助金は驚く程、少額との情報だった。財源の限られた自治体が事業

教育関係者と保護者らの要望を取り入れた素晴らしい施設。この施設の整備に携わった村長や関係者の食育教育への熱意に敬意を感じなくてはいけないのであろう。

私自身、平成最後に何か挑戦しようと、国民的行事のNHK紅白歌合戦の観覧に応募するが、選にもれたとの通知が届く。驚くことに応募総数が約108万通で、警察官立ち合いのもと抽選を行ったと

の内容に、今年の紅白

校西側に隣接して新築された白馬村学校給食センター完成披露式典に区長会長の立場で参加する。受付で受け取った施設概要のパンフレットに総事業費が約9億2000万円の事業費関係のみの記載

を計画するには、どんな補助事業が採択されるのか。どの程度の補助金が見込めるのか。当然給食センターの補助算定根拠は、調理対象生徒数であることは明白。しかし完成した施設は、学校関係者や

シーズンを迎えても毎日求人報が出されるほどの生産人口の減少は切実な問題になってきている。村内にある保育園や福祉施設への食の提供や白馬高校存続の為に寮生活を必要とする生徒数の増加は

## 平成最後の機会にチャレンジする 楽しみ方を考えてみませんか

年少馬村で出生した赤ちゃんの数も少なく、また観光



調理室内部の内覧会は貴重な体験だ

避けられず朝昼晩の三食を地域で対応しなくてはいけない事は明白だ。これらの問題対応の場面で、今回の補助関係事業費の繰上げ返

選で対応ができたと思える日があつてほしい、と願うばかりだ。(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)